

八幡の風

フリー参観 を実施しました

11月29日(水)・30日(木)の2日間、フリー参観を実施しました。
昨年度に引き続き、この2日間は参観時間を制限せずに8:30～16:30の間、自由に参観していただくこととしました。

これは、生徒たちの学校生活の姿を自由に観ていただきたいという思いから行っているものです。2日間で90名ほどの方に来校いただき、生徒たちの授業中の様子や休み時間、掃除や給食、部活動の様子なども観ていただきました。

また、教室前廊下の掲示物や家庭科・美術科及び、美術部やPTA活動での作品など文化祭での展示物、さらには合唱コンクールの動画なども観ていただくことができました。



<合唱コンクール 動画配信中>

12月1日付の文書で連絡させていただいたとおり、文化祭での合唱コンクールの動画を期間限定で配信しています。ご家庭でも、ぜひご視聴ください。詳しくは、保護者宛文書「合唱コンクールの動画配信について」(12月1日付)をご覧ください。配信は12月10日(日)までです。

廃品回収 へのご協力ありがとうございました

12月2日(土)、PTAの廃品回収を実施しました。

この日も好天に恵まれ、スムーズに作業を進めることができました。また、部活動に来ていた生徒たちもたくさん手伝ってくれました。前回の9月の廃品回収から間もないこともあり、回収された廃品はやや少なめではありましたが、お陰様を持ちまして、本年度予定していた全3回の廃品回収を無事終えることができました。



引き続き、PTA活動へのご協力をお願いいたします。

合唱曲の“歌詞”に想う



今年の文化祭も、生徒たちの素晴らしい合唱を聴くことができました。

さて、生徒たちの取組や歌声が素晴らしいのは言うまでもありませんが、それぞれの曲の歌詞をご存知でしょうか。合唱曲の歌詞には、そこに込められたメッセージがあります。

ここでは、3年生の各クラスが歌った合唱曲の歌詞について、少し紹介しておきます。

「あなたへ ～旅立ちに寄せるメッセージ～」(3年A組)

この曲は、作曲家でもある小学校の教員による作品で、まさに、これから旅立つ若者に向けてのメッセージが込められています。人と人の深いつながり、愛情、人生の厳しさ……。そして優しさとは何か、強さとは何かを考えさせられる曲です。“愛と涙……”のサビの部分がかっこいいのは言うまでもありませんが、個人的には“荒んだ心に突き刺さったのは 意外な奴の言葉だった……”のあたりも気に入っています。

白木蓮にも似た その白い翼で
まだ見ぬ世界 未来という
果てしない空へ 旅立ってゆく
のですね
まばゆいほど輝いて 旅立って
ゆくのですね
温かな巣をあとにして

愛と涙 そして知るだろう
人生という名の迷路の果てに
……

川は風と語り合っているよ
鳥は花と触れ合っているよ
日差しは木の葉とじゃれあっ
ているよ
雨は蛙と語り合っているよ

ほらね
僕らは一人じゃない
きっとね
誰も一人じゃない
……

「ほらね、」(3年B組)

この曲は、東日本大震災の後、被災地を応援する企画の中で生まれた曲です。被災の影響は想像を絶するもので、震災直後は、歌うことすらできなくなった人もたくさんいたそうです。そんな人たちに、優しい言葉とメロディで、そっと寄り添い語りかけるのがこの曲です。全体的に平易な言葉で創られており、“ほらね” “きっとね” “ゆっくり” “そっと”という言葉が、傷ついた心にしみ込んでいくようです。

「予感」(3年C組)

広大な砂漠に300万本のポプラを植林する。そんな偉業から生まれた曲です。“乾き切った大地に 一本の苗を植えよう” “いま勇気を持って大地に 一杯の水を注ごう”という歌詞からは、単なる植林という行為に留まらず、愛、平和、勇気、希望といった、人が生きていくうえで大切なものを力強く感じさせられます。“心の中にひとつの予感”という歌い出しも印象的で、何度聴いてもグッと心にくるものがあります。

心の中にひとつの予感
影をなす
不安と焦りのかなたに
光あふれる
美しい世界が広がる

いま乾き切った大地に
一本の苗を植えよう
希望と愛を託して
一本の苗を育てよう
……

合唱コンクールの動画をご覧になる際には、ぜひ、歌詞も味わいながら視聴していただければいかがでしょうか。

(文責 臼井)